



学校巡回バイオリン体験教室

音楽の楽しさに触れて

2月7日と8日の2日間、町内の4小中学校でバイオリン体験教室が開催されました。昨年の6月に続き今年2回目の開催となった今回も「バイオリンひまわりプロジェクト」の講師4人が学校を訪れ、普段触れることの少ないバイオリンに触れることで、音楽の楽しさを伝えました。

獅子島小中学校では、小学1年生から中学3年生の児童生徒37人が教室に参加しました。

参加した竹口こころさん（中学2年）は「初めてバイオリンを手にしたが、自分の手にする弓で音が鳴ったので、とても嬉しかった。また機会があればぜひ弾いてみたい」と満足げでした。



↑慣れない手つきでも演奏を楽しむ児童



学校統合へ向け児童らが交流学习

4月からは同じ学び舎で

2月14日、汐見小学校（肥後広行校長）の全校児童10人が、城川内小学校を訪れ交流学习を行いました。

同校は、今年4月に城川内小学校と統合しますが、児童たちが早いうちに、人数の多い学校での生活に慣れ、仲間づくりができるようこの交流学习を実施したものです。

4月から城川内小学校6年生として学校生活を送る小屋海琴さんと小屋旭華さんは「今までは2人で発表もすぐ終わっていたけど、多くの友達の前で発表したり、聞いたりできたのが楽しかった。急に環境が変わるから不安もあるけど、4月からが楽しみ」と笑顔で話していました。



↑一緒に授業を受ける児童



鷹巣小学校で親子調理教室

最新のコンロを使って親子で調理

2月10日、鷹巣小学校（大野憲久校長）で（一社）鹿児島県LPガス協会主催の「親子調理教室」が開催されました。

この日は、鷹巣幼稚園の園児や鷹巣小学校の児童とその家族ら38人が参加。参加者たちは調理講師の説明を聞いた後、家族で協力し合ってピザやピラフ、ベーコンとレタスのスープなどを調理し、出来上がった料理をおいしそうにほおぼっていました。

なお、今回料理教室を行った鷹巣小学校には、同協会より最新のガスコンロ3台が寄贈されました。



↑協力して作った料理を前に笑顔の参加者